

5つのアクションで 多久市の明日を変える!

アクション1 住みたくなるまち

市民が必要とする施設やサービスに市有地を活用、また地区や町協への地域活性補助金制度を創出し、市民がイキイキと暮らせる地域づくりを目指します。

アクション2 子育てしたくなるまち

保育料の無償化、児童センターあじさいのアップデート、小学校入学時の支援、学校体育館の空調整備など子育て環境のさらなる充実を目指します。

アクション3 行きたくなるまち(交流人口増)

市内観光資源の再整備や新たな観光資源の確保、デジタルを活用したPR事業の強化を図り、交流人口の増加を図ります。

アクション4 働きたくなるまち

新たな企業誘致や起業家の支援、地域企業との連携強化で雇用創出を図ります。

アクション5 産業の育成(商工農林)

旧市立病院跡地、旧なかしま会館、旧ハロー跡地の利活用、新たな住宅団地の造成や農林業の後継者不足への対応と支援、多久産品の販売促進で産業の育成を図ります。



香月正則 Profile

昭和47年7月20日生まれ。
多久市立北部小学校・中央中学校、佐賀県立多久工業高等学校(現多久高等学校)を卒業。東海佐賀株式会社で20年勤務し、平成23年に多久市議会議員に初当選。その後3回の選挙でも当選し、市議会議員を務めてきた。

その他の経歴

連合佐賀多久小城地域協議会議長、公益財団法人孔子の里理事、北多久町スポーツ協会理事など。

当選証書付与式



9月8日(月)の当選証書付与式では、市選挙管理委員会の中原博秋委員長が「これからの市政には、市民の負託と期待が込められています。これを重く受け止め、市民目線でスローガンに掲げた仕事を遂行してください」と激励し、当選証書を手渡しました。

就任式



9月17日(水)、就任式で香月市長は「選挙戦で掲げた人口減少問題については特に力を入れ、多くのアイデアを募りながら多久市に活力をもたらす政策を打ち出します。オール多久で、みなさんと共に多久市を前に進めていきます」と、決意を込めて挨拶しました。